

一般社団法人 FEEL Do

2023年度事業計画書

2023年4月1日から2024年3月31日まで



一般社団法人 FEEL Do

## 1. 基本方針

地域社会においては、地域福祉や防災など、複雑化する課題への対応の必要性は高まっていますが、自治会、町内会等への加入率の低下など、地域のつながりの希薄化への危機感が一層高まっています。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響は大変大きく、地域社会の姿が思いもよらぬ方向へ変容したり、これまでの営みが引き継げない事象が生じたり、人流に関しては感染防止の観点から非対面での人と人の交流が一気に活発化また常態化しました。一人ひとりの暮らしぶりはもちろんのこと、地域活動や市民活動に様々な制約や後退が生じていると捉えざるを得ません。

高齢者・子ども・障がいのある方々などの見守り、居場所、生きがい、就労機会づくりなど地域生活課題は変化、複雑化しています。共に考え共に創る変えることが必要ですが、実際には自身や家族のことで精一杯で共同体に時間と労力を割けない方々、他者や地域への無関心・未関心層も多いのではないのでしょうか。限られた福祉コミュニティ担い手は、負担の増大もあり求められる業務や活動行うことが難しくなっています。

社会保障の主体である行政、市民社会づくりを担う NPO や企業の社会的貢献、教育機関等を含め、地域コミュニティ形成に欠かせない多様な主体がそれぞれの強みを活かし、弱みを補い合うことが、これまで以上に求められています。

加えて今年度に入り、奥能登地震をはじめ全国各地で大きな地震発生が続いており、いつ震災に見舞われるか不安を募らせている方も多くおられます。

本会は、このような状況にあっても地域生活課題の芽を摘み、深刻化を防ぐためにも、市民一人ひとりが自身の周辺で起こっていることに気づく機会を得て「私や私たちの問題でもある」と捉え、あらためて「つながり・支え合うことができる福祉コミュニティづくり」と、「災害にも強いコミュニティづくり」に向けた取り組みを進めてまいります。

## 2. 事業の実施に関する事項

### ① 福祉コミュニティづくりに関する相談・支援事業

#### ● 災害派遣福祉チーム養成事業

- ・ 滋賀・大阪・鳥取・沖縄の各府県災害派遣福祉チームの養成を各府県の災害福祉支援ネットワーク事務局と協議し研修を実施します。
- ・ 上記以外の都道府県災害福祉支援ネットワーク事務局からのご相談や研修依頼に積極的に対応します。

### ② 福祉コミュニティづくりに関する事業の企画・運営事業

#### ● 講座の企画立案や講師対応

- ・ 福祉コミュニティづくりに向けたフォーラムを実践者登壇のもとで開催します。

- ③ 福祉コミュニティづくりに関する情報の収集・提供事業
- 合宿の開催
    - ・ 理事・社員・パートナーによる研さん・情報交換を目的とした合宿を開催します。
  - 情報交換会の開催
    - ・ 福祉コミュニティづくりに関する情報提供・ネットワーク構築を目的とした情報交換会を開催します。
  - ホームページや SNS などを通じた情報発信
- ④ 福祉コミュニティづくりに関する調査・研究事業
- 調査・研究事業の検討
    - ・ 調査・研修のテーマが明らかになり次第事業を実施します。
    - ・ 外部から依頼があった場合、理事間で検討し調査・研究事業を受託することがあります。
- ⑤ 福祉コミュニティづくりに関する出版・編集事業
- 災害派遣福祉チーム(DWAT)人材育成研修テキストの出版・改訂
    - ・ 現在出版しているテキスト Ver.7 を必要に応じて改訂・出版します。
  - 災害福祉支援体制構築に関するワークブックの出版・編集
    - ・ 住民の生活基盤が最も脅かされる災害時に、普段のセーフティネット機能が被災された市民の生活支援、生活再建に活かすために、どのような未然・事前の取り組みが求められるのか。災害発生時の災害復旧(復興)活動が日頃からの地域福祉活動の延長線上の活動として活かされた実践事例などを記載したワークブックを発行します。
- ⑥ その他必要な事業